

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	2570500377
法人名	特定非営利活動法人 NPOふくし永源寺
事業所名	グループホームやすらぎの里永源寺
訪問調査日	平成 20 年 5 月 27 日
評価確定日	平成 20 年 6 月 15 日
評価機関名	ナルク滋賀福祉調査センター

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 6月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2570500377
法人名	特定非営利活動法人 NPOふくし永源寺
事業所名	グループホームやすらぎの里永源寺
所在地	滋賀県東近江市山上町5045番地 (電話) 0748-27-1199

評価機関名	NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター		
所在地	滋賀県大津市和邇中浜432番地 平和堂和邇店2階		
訪問調査日	平成20年5月27日	評価確定日	平成20年6月15日

## 【情報提供票より】(平成 20年 5月 23日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 3月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	14 人 常勤 3 人, 非常勤 10 人, 常勤換算 7 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	33,000 円	
敷 金	有( 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	450 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要( 5月 27日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 82.3 歳	最低	76 歳	最高	88 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	永源寺診療所 榊田医院 織田歯科医院
---------	--------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は周囲を田園に囲まれ、遠方に鈴鹿山脈を望む自然環境豊かな場所にあり、その中で9名の利用者が家庭的でゆったりとした穏やかな生活を送っている。利用者全体の要介護度が比較的低い関係もあってケアについては、各々の持てる力を発揮してもらう支援に重点を置きつつ、職員は常に利用者の目線で考え判断することに留意しており、利用者との間には良好な信頼関係が維持されている。又健康管理面は提携医療機関と密接に連携をとりつつ、特に感染症予防には注意を払っている。利用者と職員が朝、昼、晩、一緒に調理した食事を一緒に楽しむ、ごくありふれた光景であるが、実にほのぼのとした暖かさを感じさせるグループホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>「理念共有化の取り組み」「家族への報告」は前回指摘に基づき改善されていた。「評価の意義の理解活用」は、評価結果を踏まえた具体行動と進捗状況の検討等について今一步の努力を期待したい。又当事業所は終末期ケアは行わない方針であるが利用者、家族に対し事業所の考え方を文書化して早期から話し合いを持ち理解を得るよう取り組んでほしい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員が自ら評価できる項目を記入、管理者がそれを集約して完成させており全員参加の自己評価活動と言える。これに外部評価結果も加えて具体的な、改善行動、結果検討を実施し更なる向上に取り組むことを期待したい。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議には市担当者、民生委員、老人クラブ代表、自治会長、利用者家族等が参加し、利用者の状況説明の後、安全衛生面等を議題として話し合っている。議事録から地域自治会活動への参加や住民とのかかわりを強める提案がされ討議されていることが伺われる。今後更に地域に密着した事業所として発展して行くべく運営推進会議の場を活用して行ってほしい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>月々の請求書と共に利用者の様子、往診時の結果、立替費用明細、写真等を送付報告している。意見、苦情の申し立て方法は、外部窓口も含め家族に通知しており、ホーム内の意見箱や運営推進会議の場も活用している。なお家族の訪問来所時には事業所側から積極的に意見要望を聞き出し、一層のサービス向上に役立ててほしい。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会での事業所の活動説明や、短大生の介護体験実習受け入れ、永源寺の「もみじ祭り」に見学参加する等地域との連携を深めつつあるが、地域自治会にはまだ加入していない。地域の一員として根付くためにも加入を望みたい。又認知症ケアについて事業所が地域住民の相談に関わっていくことである。地域貢献の柱として期待したい。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしさ」、「尊厳を大切に」、「心地よい暮らし」、「地域の一員として貢献」といった文言を取り入れた当事業所独自の理念が出来上がっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は事業所内の目に付く場所に掲示すると共に、毎日見るファイルにも貼って、管理者、職員が共に理念を共有、実践しようとしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所の周囲が田園という環境にあるため、地域住民からは野菜や収穫物の差し入れを頂く等連携も順次深まりつつあるが、地域自治会には現時点で未加入である。	○	開設4年目を迎え地域の一員として活動するためにも自治会への加入を望みたい。又「やすらぎ新聞」が今年の敬老祭時に発行されたが、事業所のPR、広報の一環として定期的に発行することを望みたい。又近隣の幼稚園児との交流や認知症ケアの住民相談を考えているとのこと。実現を期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価実施には職員全員が参加しており評価作成のプロセスも適切であるが、自己評価及び外部評価の結果を生かした具体的な改善計画策定、改善行動、改善実績チェックのサイクルの見極めが今一步である。	○	評価結果を踏まえ具体的な改善活動(職員毎の取り組み計画)をたて、その進捗状況を検討する等して、更にレベルの高い事業所を目指して行ってほしい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月に実施し、議事録も残されている。事業所側から利用者の状況報告や運営に関する議題について話し合いを持ち、意見や提案をサービス向上に取り入れている。会議には、市職員、自治会、民生委員、利用者家族などが出席している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の健康福祉部担当者とは、利用者の健康問題や予防接種等について電話相談や相互訪問を通して緊密な連携をとり問題解決に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月々の請求書送付時に、「利用者様一ヶ月の様子」(暮らしぶり、写真、往診時の結果等)や買い物時の金銭明細等を報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談・苦情申し立ての内部・外部窓口は家族に通知されており、ホームに意見箱の設置や、家族の訪問時に意見を聞きだす努力が行われている。		意見箱の活用はほとんど無いので、家族の訪問時には事業所側から今以上に積極的に意見・要望を聞き出すように努めてほしい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者と職員は良好な信頼関係にあり、ここ近年職員の離職や異動は発生していない。急用でその職員が決められた勤務に就けない事態が発生した場合等も運営者や管理者を含めて職員が相互に助け合う風土が出来ている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	非常勤職員も含めて外部研修には積極的に参加し、公的資格取得の勉強会も実施している。又勤務年数など取得条件を満たした職員に資格取得の働きかけを行っている。		職員個人毎の育成計画を立て、OJTを中心に介護職員としての更なるスキルアップに取り組むことを期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東近江介護サービス協議会グループホーム部会に加盟し、隔月に開催される会合や研修にも参加している。他事業所と情報交換を行ったり新職員の研修を依頼する等同業者との交流に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始に先立って本人が納得されるまで来所を促しホーム生活に馴染めるよう対処している。又ホーム側も利用予定者の家庭を訪問しアセスメントを行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の立場に立って喜怒哀楽を共にしつつ食事の下拵えや裁縫などの場面でその技を利用者から学んでいる。又役割を果たしてもらった後は必ず感謝の言葉かけをする等互いに支えあう関係が構築されている。		利用者は人生の先輩であると共に生活の技を教えてもらう師であるという考え方で接し、今後とも一層の研鑽を望みたい。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で自分のやりたい役割や楽しみごとの希望を把握しケアに活かすと共に、家族との話し合いの中から本人が得意としていたこと(例えば裁縫や折り紙)を聞き取りサービスに取り入れる努力をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族と話し合った結果を基に職員会議で話し合い、本人、家族の思いを最大限取り入れることを基本に、利用者の課題、長期的及び短期的援助目標、援助内容といった内容の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しは年に2回職員会議で行っているが、急な変化があった場合は随時見直し修正している。本人、家族の希望があった場合も修正を加えている。		今後利用者の重度化が進むことも考えられ、定期見直しは3ヶ月単位とすることを望みたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医受診時の職員付き添い送迎サービスや、自治体が発行するオムツ助成券の手続き代行サービス、又本人の状況、希望に対応して外泊の支援等もしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望に応じてかかりつけ医の受診に対応すると共に、月一回の提携医往診を受けている。又提携看護師(非常勤)には週一回木曜日に利用者の様子を見てもらっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	当事業所はターミナルケアは行わない方針であるが、いつの時点で、どう対処する、といったことについて家族も含めて共有するまでには至っていない。	○	当面該当者はいないと思われるが、いずれ訪れる終末期対応について文書化して、入居契約時は勿論のこと絶えず繰り返して基本の考え方について家族の理解と協力を得て常に共有化しておくよう望みたい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	事業者の守秘義務を利用契約書に明記し家族に通知すると共に、記録する場所、保管する場所はスタッフルームと決めている。利用者の居室に入る場合は必ず声かけをし許可を得るようにしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一応の流れはあるが、その日の状況により、利用者個々のペースに合わせることを最優先に柔軟な対応が取られている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材調達、献立、調理、片づけまで利用者と職員が一緒に行っている。職員は3食とも利用者と同じ食事を同じ場所で取っており、終始和やかな会話が弾んでいる。食事時間も利用者のペースに合わせて充分取られている。		食事は、利用者にとって大きな楽しみである。この状態をいつまでも続けていってほしい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は基本的に偶数日の午後としているが、特にこだわることなく柔軟に対応している。入浴を拒む利用者があるが、言葉掛けにより最低週一回の入浴を実現している。		浴槽の縁が高いので湯船に入る時の見守り、サポートはしっかりとお願いしたい。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	折り紙、裁縫、歌を唄うといった楽しみごとの他に、利用者それぞれが調理、掃除、洗濯等得意とする場面で役割を持って生活している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、散歩、買い物、ドライブに出かけている。又居間の前のベランダに出て四季折々の景色を眺めつつ新鮮な外の空気を吸ってもらうことを行っている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は2～3名体制の職員が絶えず目配りを行うと共に、利用者を一人にさせないような配慮により玄関は施錠せず開放されている。又利用者の居室は鍵を自分で持つ人には本人に施錠を委ね、そうでない場合は開放の状態となっている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の対応マニュアルや、緊急時の連絡網は徹底されている。毎年一回4月に消防署の協力を得て避難、消火訓練を実施している。		地域との連携を深め、いざという時近隣の協力を得られる体制を築かれるよう望みたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個人毎に食事、水分の摂取量をチェック記録している。又提携医院の管理栄養士に献立表を提出し栄養バランスの確認と指導をしてもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂、居間の共用空間は明るくて居心地が良く、浴室、トイレも清潔である。手製の日めくりカレンダーが掲げられており時の認識をサポートしている。		出来るだけ利用者の作品(折り紙等)や、写真等を居間に掲示し更にくつろげる空間を演出してほしい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	箆笥をはじめ使い慣れた家具が持ち込まれ、その人なりの城が築かれている。各居室の整理整頓も行き届いている。		趣味の品等の持ち込みを家族に働きかけ、利用者が一層落ち着ける居室作りに取り組んでほしい。